令和８年度市川市読書感想文コンクール実施要項

１　趣　旨

　このコンクールは、児童生徒を対象とし、読書の深化と広がりをはかり、読書生活の習慣化を育てることを目的とする。また、第７２回青少年読書感想文全国コンクール県第一次審査を兼ねる。

２　主　催

市川市学校図書館教育研究部会

３　共　催

市川市教育委員会

４　応募について　9/1(火)に担任に提出

（１）応募先　~~市川市教育委員会義務教育企画課　（担当：大塚）~~

~~※私立校は参加費３５０円を添えて、９/７（月）、９/８（火）の９時から１７時の間に作品を市川市役所第２庁舎４階義務教育企画課（市川市南八幡２-20-2）までご持参ください。その際、必ず領収書を受け取るようにしてください。~~

（２）応募点数

小学校１～６年 義務教育学校１～６年	１校６点 まで	低学年　自由読書　１点　課題読書　１点 中学年　自由読書　１点　課題読書　１点 高学年　自由読書　１点　課題読書　１点
中学校１～３年 義務教育学校７～９年	１校２点 まで	自由読書　１点　課題読書　１点

※応募については、１部門のみでも可能です。

（３）対象図書

○自由読書

自由に選んだ図書。フィクション、ノンフィクションを問いません。

＊他の団体主催のコンクールの課題図書・前年度以前の課題図書は、自由図書として応募できます。

（本年度の課題図書による読書感想文を当該の部の自由読書に応募することはできません）

＜対象外となる図書＞…これらをもとにした読書感想文は、出品できません。

① 教科書・副読本　※元となるオリジナル作品を読んで書いた場合は応募可能

② 読書会用テキスト類またはこれに準ずるもの　③ 雑誌（別冊付録を含む）

④ パンフレット類　⑤日本語以外で書かれた図書

⑥ 電子書籍　※同じ本を紙媒体の書籍で確認し、応募票の書誌事項を記入すれば応募可能

○課題読書

【課題図書一覧】
○小学校低学年
まこちゃんとコトバロボ（佼成出版社）
なにかいいことあった？（BL 出版）
ララのまほうのことば（工学図書）
たねはいのちのおわりとはじまり（ブロンズ新社）
○小学校中学年
まだまだここから（ポプラ社）
それからぼくはひとりで歩く（ほるぷ出版）
おいしいお米をつくりたい！：ゆうちゃん、小学生で農家に弟子入りしました（汐文社）
宇宙でウンチ：みんなの知らない宇宙トイレのひみつ（あすなろ書房）
○小学校高学年
ポジション！（岩崎書店）
リヒト！（文研出版）
ミシュカ（静山社）
キミの一歩アフリカ：ゾウを食べるにはひと口ずつ（あかね書房）
○中学校
君の火がゆらめいている（講談社）
チーム・テスならだいじょうぶ（鈴木出版）
リュウグウの砂に挑む：チームで小惑星のサンプルを分析（くもん出版）

（４）字数および用紙

低学年　（小学校・義務教育学校1～2年）	本文　８００字（４００字詰原稿用紙２枚）以内
中・高学年（小学校・義務教育学校3～6年）	本文１２００字（４００字詰原稿用紙３枚）以内
中学校（中学校1～3年・義務教育学校7～9年）	本文２０００字（４００字詰原稿用紙５枚）以内

（５）注意事項

①句読点や改行のための空白は、字数分とする。
②原稿用紙は一行目から本文に入り、題名・学年・性別を一枚目の冒頭欄外に、書名・著者名・出版社名を末尾欄外に記入する。
③校名・氏名については、全て添付の応募票に記入する。（必ず今年度の応募票を使用する。）
※ 原稿用紙には、校名、氏名を書かない。
※応募票ははっきりと分かるように楷書で記入する。**（応募票を基に審査が行われますので、記入もれ、誤字脱字のないようお願いします。）**
④原稿用紙は一枚ずつ二つ折りにし、右肩をホチキスで綴じる。一枚目の上に応募票（Ａ５版）をクリップで添付する。（応募票はホチキスで綴じない。）
⑤自筆であること。（自筆不能の場合は理由を書き添える。）
⑥作品の控えを残しておく。
⑦他の団体の主催するコンクールに出した作品を重ねて応募しない。
⑧市川市の審査にて最優秀作品として選出されたものは、今後教材等で活用するため、直筆全文の掲載と氏名等を公表する場合があります。この点につきまして出品者にご確認ください。なお昨年度の市川市の最優秀作品はＣ4thの書庫に保存されています。取扱いに注意した上で指導の参考にしてください。